

令和7年度 近畿納稅貯蓄組合総連合会会長賞

思いやりの税金

香芝市立香芝北中学校 3年 長尾 玲花

私は難病指定されている病気を患っている。その影響で毎日たくさんの薬を飲まないといけなくなった。その時、「たくさんのお金がかかってしまう。」という想いでいた。しかし、毎月の受診時にたくさんの薬が出され、会計をすると毎回ゼロ円であった。それは、子ども医療費助成制度によるものであり、その制度は国民が納めた税金が財源となっているそうだ。私はそれを知ったとき、生まれて初めてかもしれない税金のありがたみを感じた。それと同時に、薬を飲み続けないといけない病気のため「大人になつたらどうしよう。」と強く思った。それから、私達の身の回りに使われているありがたい税金の使い方が気になり、調べてみることにした。

私達学生にとって必要不可欠の、教科書やパソコン、黒板、実験器具や体育用具、机や椅子さらには校舎や体育館、プールにまで使われていることが分かった。そして何より一番は無料で学校へ通えることに使われていることが大きいと思う。これらがないと私達はきちんとした教育を受けることができていなかつたんだと思うと税金のありがたみをもう一度感じることができた。

私達の未来に目を向けると、老後も安心して暮らしていくために国から受け取る年金の一部や介護が必要になりそのサービスを利用したときにかかる金額の一部にも税金が使われていると分かった。

これらのように私達は税金にすごく助けられている。これは私達学生だけではなく全国民に共通することである。はじめの話題に戻るが、医療費の負担額が十割ではないのも税金が使われているからである。この税金の使い方に助けられている人は多いのではないだろうか。

しかし最近、「消費税をなくせ」という言葉をよく耳にする。実は私も最近まではそのように思っている一人だった。けれど、税金の使い方、税金のありがたみを知った今、そのように考えている人たちに「あなた達が払っている税金のおかげで本当に助かっている人がたくさんいるんです。」と言つてみたい。

世の中には税金によってたくさんの人々が助かっているという事実をなんとなくしか知らない人が多いのではないかと思う。だから「消費税をなくせ」なんて言えるのではないかと思う。そのように思いながら税金を払うより、その事実を正しくしっかり知ることによって、「誰かのためになるなら。」と思えることで今までより気持ちよく税金を払うことができるのではないかと思った。

それでも、今まで国民が税金を払い続けてくれたおかげで、私は今、感謝の気持ちを持ちながら安心して病気の治療をすることができている。思いやりの気持ちを持って税金を払う人が増え続けていけばより良い世の中に必ずなると思うので、近い将来そのような考え方の人ばかりになればいいなど願い続ける。